連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協だより

春号
Shizuoka Rofukukyo Dayori
Spring

(一社)静岡県労働者福祉協議会

静岡地域・地区拠点事務所オープン

全労済住まいる共済が発売

「もったいない」を「ありがとう」へ変える

勤労者福祉事業連絡会議

ALWF
福祉基金協会からのお知らせ

第10回 チャレンジ 川柳表彰式

シリーズ**運動継承!**
事業団体職員・労福協役員へ
贈る言葉

地区労福協事務局長の
リレートーク No.16
人物登場

New office opening　New office opening　New office opening　New office opening

静岡地域・静岡地区労福協
拠点事務所オープン

静岡地域労働者福祉協議会　事務局次長　安本　寿夫

3月4日（水）念願であった静岡地域・静岡地区労福協新事務所の開所式が、ご来賓や福祉事業団体関係者、地域・地区労福協役員並びに事務局を含む25名のご参加をいただく中、執り行われました。

新事務所は、静岡労政会館から徒歩１分、国道１号線と昭和通りが交差する角地に立地し、向い側には静岡商工会議所が位置する丸伸ビル３階という、大変便利な場所に設置することができました。

また、教室形式で最大27名が利用できる会議室を確保し、当地域・地区労福協の会員（退福協・ｸﾞﾘｰﾝ友の会等を含む）の利用に資する事務所となっています。

静岡市葵区黒金町12-5 丸伸ビル3階
電話：054-269-4628
FAX：054-269-4629

なお、事務所の設置にあたっては、（一社）県労福協並びに地域会員のご理解・ご協力のもと、ろうきん会員の拠出金（地域役立資金）の活用をいただきましたが、事務所設置の要望に至る経過としては、旧事務所がライフサポートセンター友の会等の団体と共有となっていたことから、友の会としてのセキュリティー管理等に伴うご負担・ご迷惑をおかけしていました。また、こうしたことは、労福協のみでの事務所利用に支障をきたす状況となっており、そのため労福協としての事務局機能が有効的に機能し、地域・地区の活動拠点となる事務所の新設を要望させていただいたところです。

こうした状況を受け、開所式では、静岡地域・地区労福協の大石会長からは、関係各位の協力に感謝申し上げるとともに、皆で大切に末永く利用し、地域福祉活動の活性化に繋げていきたいと挨拶されました。
また、県労福協吉岡理事長からは、ここからがスタート、全力で活動していくことが大切、様々な取組みが多くの仲間を作り、そして社会福祉となって広範な活動に展開することを期待するとのご挨拶をいただきました。

最後に、こうしたご挨拶を受け、私たちを取巻く環境は依然として厳しい状況が続くことが予想されますが、新たな事務所設置を機に、勤労者行政の充実に向けた活動、各種セミナーや親睦交流の開催、福祉事業団体の育成・強化等を中心に、労働者自主福祉活動の更なる積極展開を目指していきます。

New office opening　New office opening　New office opening　New office opening　New office open

全労済からのお知らせ

ZENROSAI NEWS
1814B058

全労済の
住まいる共済
新火災共済・新自然災害共済

「住まいる共済(新火災共済・新自然災害共済)」が発売されました

全労済では、2月1日から従来の火災共済・自然災害共済が「住まいる共済（新火災共済・新自然災害共済）」として新しく生まれ変わりました。

組合員の皆さまのご要望やニーズにお応えするために、保障内容の充実や建物構造区分の見直しの実施、新たな特約やタイプの新設などを行いました。

ポイント❶ 建物構造区分を見直し、掛金を改定しました。

建物構造区分を従来の「木造・モルタル等」と「鉄筋コンクリート」の2区分から、「木造構造」「鉄骨・耐火構造」「マンション構造」の3区分に見直しました（すでにご加入の皆さまには、「建物構造の確認のご案内」を差し上げております。ご確認のご案内の時期は、満期日や取り扱い団体によって異なります）。新設する「マンション構造」は、「鉄骨・耐火構造」よりもお手頃な掛金となります。また、マンション構造には「マンション構造専用風水害保障なしタイプ」を新設し、さらにお手頃な掛金としました。

■火災共済の掛金

〈旧掛金〉

建物構造区分	年払い	月払い
木造・モルタル等	70円	6.0円
鉄筋コンクリート	40円	3.5円

改訂

〈新掛金〉

建物構造区分	年払い	月払い
木造構造	70円	6.0円
鉄骨・耐火構造	40円	3.5円
マンション構造	30円	3.0円
風水害保障なしタイプ	25円	2.5円

■自然災害共済の掛金

〈旧掛金〉

建物構造区分	標準タイプ		大型タイプ	
	年払い	月払い	年払い	月払い
木造・モルタル等	90円	8.0円	130円	11.0円
鉄筋コンクリート	50円	4.5円	75円	6.5円

改訂

〈新掛金〉

建物構造区分	標準タイプ		大型タイプ	
	年払い	月払い	年払い	月払い
木造構造	110円	9.5円	165円	14.0円
鉄骨・耐火構造	70円	6.0円	105円	9.0円
マンション構造	60円	5.5円	90円	8.0円
風水害保障なしタイプ	55円	5.0円	80円	7.0円

ポイント❷ 新たな特約等を新設しました。

日常生活や住まいに関わるリスクをカバーするものとして、3つの特約等を新設しました。

近隣への延焼による損害に対応!
NEW 類焼損害保障特約

賠償責任が生じる「もしも」の事故に備えて!
NEW 個人賠償責任共済

万一の盗難にも安心の備え!
NEW 盗難保障特約

ポイント❸ 地震に関する保障内容が充実しました。

大規模地震のときにも、より確実に共済金をお支払できるよう、総支払限度額を引き上げました。また、損害認定区分を見直し、現行の3区分から「大規模半壊」を加えた4区分へ変更し、よりきめ細かいお支払ができるようになりました。

◆総支払限度額の引き上げ　現行 2,000億円 ▶ 2015年2月 2,700億円 ▶ 2016年4月 3,500億円

被害の程度	1口あたりの共済金	
	標準タイプ	大型タイプ
全壊（70%以上）	20,000円	30,000円
半壊（20%～70%未満）	10,000円	15,000円
一部壊（100万円超）	2,000円	3,000円

改訂

被害の程度	1口あたりの共済金	
	標準タイプ	大型タイプ
全壊（70%以上）	20,000円	30,000円
大規模半壊（50%～70%未満）	12,000円	18,000円
半壊（20%～50%未満）	10,000円	15,000円
一部壊（100万円超）	2,000円	3,000円

住まいる共済の制度に関する詳細は、リーフレット等でご確認ください。

住まいる共済発売記念「ぼうさい・保障点検フェア」を開催

2月1日(日)に静岡市青葉イベント広場にて、住まいる共済発売にあわせて「ぼうさい・保障点検フェア」を開催しました。当日は400名の方が来場し「起震車による地震体験」「非常食の試食」「大道芸パフォーマンス」などが行われました。全労済の公式キャラクター「ピットくん」も登場し、大人からお子さままで多くの方に楽しみながら防災に関する意識を高めていただきました。

全労済の公式キャラクター「ピットくん」（写真左）と大道芸人「ココロ」（同右）によるステージショー

地震体験の様子

非常食の試食と災害パネル展示の様子

役職員による街頭でのティッシュ配布

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会
静岡県本部
（静岡県労働者共済生活協同組合）

勤労者福祉事業連絡会議を開催

一歩前進

勤労者福祉共済会の現状

2月16日、ロッキーセンター会議室で勤労者福祉事業連絡会議が開催されました。この事業連絡会議は勤労者福祉共済会、市町担当課、労福協、県労働政策課で構成され、中小企業勤労者の福祉向上に寄与することを目的に年1回開催されています。県内には16の勤労者福祉共済会(SC)があり、中小企業と大企業との間にある「福利厚生事業」の格差是正のために、労福協などが行政に要望して福祉共済会が設立されました。

当初は国や県からの補助金によって運営されていました。現在は市町からの補助金を受け、運営されています。しかし、市町からの補助金も削減され運営が厳しくなり、共済会の加入率、会員一人あたりの市町の補助額もバラつきが生じています。

事前会議

県労福協では今回の勤労者福祉共済会事業連絡会議の開催前に、地区労福協の役員に集まっていただき、県内の福祉共済会の現状を認識してもらいました。そしてスケールメリットを活かした福祉共済会となるよう市町へ要望をあげることをお願いして、勤労者福祉事業連絡会議に臨みました。

塚田孝雄氏の講演

事業連絡会議では岐阜県にある中津川・恵那勤労者サービスセンターの事務局長の塚田孝雄氏を講師に招き「会員2万人を目指して」の講演をいただきました。

この勤労者サービスセンターは中小企業勤労者に対する加入率は34%で、この地域での認知度はかなり高いとの事でした。

講演の中で、「会員拡大にはターゲットを絞り行事を企画している。女性は10円、20円でも安ければ興味を示すので、女性から経営者に勤労者サービスセンターのメリットを伝えてもらう。新規開拓には行政の力を借りて行う方が効率的である。地域の企業が潤うような企画を行っている。会員の日々変わるニーズをどう掴むかが課題である。」と話されていました。県内の勤労者福祉共済会の会員拡大に於いて参考になる講演だと感じました。

サービスセンターのこれから

講演会の後には、「サービスセンターの『これから』を考える」と言う名目で、各福祉共済会から現状の課題と今後の方向性を報告していただきました。課題は、「市町からの補助金の削減。会員数の伸び悩み。PRしても会員増に結びつかない。」との報告がありました。一方、今後の方向性では「福祉共済会の広域化、統合」などの声が多く出されました。

人口1300万人の東京都には10の福祉共済会だけです。しかし、370万人の静岡県に於いては16の福祉共済会があります。市町の補助金が削減される中、中小企業の福利厚生を向上、会員拡大のためにも福祉共済会の統合を行う必要があると考えます。

今回の事業連絡会議は例年になく多くの関係者の参加があり、有意義な会議となりました。

労福協ってなあ～に! 37

「もったいない」を「ありがとう」へと変える、フードバンク事業を広めよう!

事業推進委員会

企業などで安全に食べられるにもかかわらずに処分されてしまう食料を、生活困窮者など、本当に食料を必要としている人々に提供する、フードバンク事業。このフードバンク事業を静岡県で広めるべく、静岡県労働者福祉協議会の呼びかけにより、フードバンクふじのくにが設立されてから、約10ヶ月が経ちました。

県庁で記者会見を行い、華々しくその活動をスタートしましたが、事務所開設当初は食料が集まらず、依頼にもなかなか応えられない有様でした。

しかし、次第に食品企業さまからの寄贈が増え、静岡県労働者福祉協議会による「米一合運動」や、各労働組合を通じての防災備蓄品の提供、生活協同組合ユーコープによる定期的な食品の寄贈、静岡缶詰協会との協定の締結、しずてつストアのご協力を得た「フードドライブ」など、本当に多くの県民の皆様のご協力をいただき、これまでに約17トンの食料を集めることが出来ました。

いただいた皆様のお気持ちは、県内25箇所の市役所の福祉課や社会福祉協議会から約335件のご依頼を受け、明日の食に事欠く生活困窮家庭のために、支援をさせていただいています。

また、県内の障がい者支援施設、児童養護施設、生活困窮者支援団体への提供のほか、昨年の10月の台風18号により多大な被害を受けた方々のため、静岡市災害ボランティア本部にも食料の提供を行いました。

様々なイベントに参加し、メディアにも取り上げていただいたおかげで、静岡県でのフードバンクの認知度はだいぶ上がってきています。しかし、まだまだ課題も多く残されています。

当初の想定以上の食料が集まってきていることによる、倉庫の容量不足、人手不足、運営資金不足、輸送の問題等が主なものです。また、利用される方からも、「どのように利用したらよいか分からない」「どこに相談したらよいか分からない」等の相談もいただいています。

そのため1月29日には、市役所・社会福祉協議会の担当者さまにお集まりいただき、フードバンクの今後の運営及び利用方法の周知・調整のため「事業推進委員会」を開催し、貴重なご意見をたくさんいただきました。

ここまで成果を出せているのも、ご協力いただいた皆様のおかげであります。我々事務局としても、静岡県でフードバンクを更に発展させ、共生・安心の社会作りを目指して、事業を進めて参ります。

また、フードバンクふじのくにでは少しでもこの事業に興味を持っていただいた方のボランティアも大募集中です。私たちと一緒に「もったいない」を「ありがとう」へと変える、フードバンク事業を広めていきましょう!

～次代を担う若手リーダーの育成を目指して～

2014年度『ALWF 地域セミナー』

福祉基金協会の教育事業の一つである2014年度「ALWF地域セミナー」が、2月6日（会場:沼津「リバーサイドホテル」）、2月13日(会場:浜松「呉竹荘」)、2月20日(会場:静岡「クーポール会館」)の三会場に於いて延べ150名弱の参加者で開催されました。

このセミナーの開催目的としては、“自主福祉運動への理解を得て将来を担うリーダーの育成”と“労働組合及び福祉事業団体への意識を高め参画と実効を目指す”として、就任３年以内の役員経験が短い労働組合役員が参加対象です。

要約すれば、“労働者自主福祉運動の初級編”としての位置づけをしております。労働組合の役員に就いた途端に「労福協活動」への参加、そして「労金」「全労済」の取組推進をすることが求められますが、なぜ「労福協活動」なのか、なぜ「労金」「全労済」の取組推進をしなければならないのかなど、事業団体についての成り立ち・意義などを含め理解していただくことです。

また、日ごろより労組三役の方々であれば、「労働団体・労福協・労金・全労済」など地域で他労組の方々との交流場面がいくつかありますが、役員就任年数が短い執行委員の方々ですとそのような場面も少ないと思いますので、他労組役員の方々との意見交換と交流の場面にしていただければとの主催者側の想いもあります。この「地域セミナー」は毎年開催をしておりますが、大変好評を得ております。

講義「自主福祉運動の歴史と意義」

■セミナーの講座内容

1.①講義　～自主福祉運動の歴史と意義～『静岡県労働者福祉運動小史』
　講師　静岡県労働者福祉運動小史　講師団
　②活動報告　～ALWF地域セミナーのみなさんへ～『労福協活動について』
　講師　県労福協　事務局長
　③講義　～静岡労金からの提案～『ろうきんの活動と制度について』
　講師　静岡労金職員
　④講義　～全労済からの提案～『生活保障設計運動について』
　講師　全労済静岡県本部職員
2.分散会＆ワークショップ
　分　散　会　　～自己紹介・講義、活動報告を受けての懇談&意見交換
　ワークショップ～「運動小史・労福協」「労金」「全労済」について考察
3.交流会

分散会の様子

■参加者アンケートの主な感想

●運動小史
戦後の労働者福祉運動の歴史に触れることができ、貴重な講義だった。先人たちの苦労があって、今の労働者の生活が実現できていることが分かった。

●労 福 協
フードバンク事業は素晴らしいと思った。機会があれば参加したい。労福協活動について単組内でも、勉強会やＤＶＤなどを広める活動が出来ればより理解できると思った。

●労　　金
労働者の為の金融機関であることを、改めて認識できた。ろうきんのいろいろなメリットについて知ることが出来た。

●全 労 済
ライフステージに合わせた保障の考え方、保障の見直しの重要性が理解できた。労働者を対象とした共済事業を行い、営利を目的としない運営を行っていることが分かった。

全体的な感想としては、①分散会を通じて、他労組の取り組みについて知ることができ、参考になった。他の単組の役員も、広報や運営など同じような苦労をしているという事が分かり良かった。②歴史等の振り返りができ、改めて助け合いの精神の大切さを学ぶことが出来た。③労働組合活動に組合員が興味を示してくれるよう、歴史や思想、労金・全労済のあり方をよく教宣していきたい、など、高い評価をいただきました。

第10回 川柳募集入選 おめでとうございます

受賞された方々

挨拶するライフサポートセンター友の会の吉岡会長

県退福協・ろうきんグリーン友の会県連絡会は第10回チャレンジ川柳　2014年11月1日から28日まで「借り」・「借りる」のお題でライフサポートセンター友の会の機関誌などで川柳を募集いたしました。

生活観を想像できるものからユーモアのある作品など、２５０点の応募をいただきました。最優秀賞をはじめ26作品が入選いたしました。

従来の審査は友の会関係者が入選候補を選び、審査委員長が各賞を決定していました。しかし、今回は全日本川柳協会常任幹事であり、静岡県川柳協会副会長である「今田久帆」先生に全ての賞を選出していただきました。

表彰式をロッキーセンター会議室で1月19日(月)におこないました。

第10回チャレンジ川柳
お題「借り」・「借りる」

最優秀賞

善意の手　借りて被災地　蘇る

静岡市葵区　蒔田　房子

優秀賞

借りてきた　猫に学んだ　亭主の座

三島市　井上　博正

優秀賞

お金より　借りた親切　温かい

浜松市中区　浅羽　清司

優秀賞

借りたもの　愛で返すわ　チャラにして

裾野市　臼井　明美

優秀賞

ネックレス　金利が重く　肩がこる

焼津市　岩田　さよ子

優秀賞

お年玉　ちょっと貸してと　ママが言い

浜松市西区　神田　典子

【総評】

「借り」「借りる」から何を連想して自分でどんなドラマを想像してみるかにより、句が生き生きとしてくるかどうかが決まります。連想することにより、それぞれの個性あふれたドラマが展開し、そのドラマへの共感が生まれます。そして余分な言葉を削り、五七五にリズムを整えることにより、十七音字以上の広い世界が展開するのです。

（今田久帆）

参加者募集

申込み先
054(273)3000

自主研究発表セミナー

静岡県内における雇用・労働・人材育成を取り巻く諸問題の現状と課題に関する調査研究

調査研究事業部　静岡ワークライフ研究

経済状況が大きく変動する中、静岡県内の雇用情勢も大きく変動し、本県の産業構造も今後大きな転換を迫られることが予測されます。このような状況を受け、2013～2014年は雇用と人材育成の問題に着目し、雇用の現状と今後の展望、県内企業の人材育成の現状と今後の取り組みなどについて調査研究を行ってまいりました。本セミナーでは、調査報告を行うと共に多くの方々と議論を深めて行きたいと思っております。

【開 催 日】　2015年4月24日(金)
【開催時間】　13時30分～
　　(受付開始13時00分)
【開催場所】　ALWFロッキーセンター
　　(公財)静岡県労働者福祉基金協会「大会議室」
【参加対象者】　一般
【参 加 費】　無料
【参加人数】　70名

【プログラム】
Ⅰ部　13時40分～14時40分　基調講演
Ⅱ部　15時00分～16時30分
パネルディスカッション
★基調講演講師
独立行政法人労働政策研究・研修機構
統括研究員　濱口　桂一郎
★パネルディスカッション

静岡大学法科大学院で教鞭を執る弁護士が、約1時間皆様のご相談に応じます。
法律に係る諸問題(相続、遺言、離婚、賃貸借、消費者被害等)でお悩みの方、お気軽にご利用下さい。
開催日:2015年6月27日(土) 会場:ALWFロッキーセンター
募　集:13時00分・14時30分・16時00分　各時間3名計9名(事前予約先着順)
問合せ:ライフサポートセンター西部　電話:054-270-3963(平日9:00～17:00)

日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。
お気軽にご利用下さい。

★ 暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
★ 豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、ＮＰＯ団体等)
★ 相談は原則無料
★ 県内６箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル
受付は平日
9:00～17:00

東部：055-922-3715　西部：053-461-3715
中部：054-273-3715　中東遠：0538-33-3715
しだはいばら：054-646-6055
岳南：0545-51-3715

ロッキーカレッジのご案内

【テレビニュースの裏側】

ニュース番組はどのように作られるのか、テレビ局の仕組みや、テレビニュースの現場についてお話しします。普段知ることのできないネットワーク協力やニュース現場を知ることでニュース番組がもっと身近に感じられるかもしれません。

日　時:2015/4/22(水)14時00分～16時00分
場　所:ALWFロッキーセンター
募　集:80名　参加費:無料
講　師:株式会社テレビ朝日ならびに静岡朝日テレビ社員
問合せ:ライフサポートセンター中部TEL054-270-3963

ロッキーカレッジ開催報告

【風の電話の物語】(2/25静岡)

岩手県大槌町にあるベルガーディア鯨山主宰 佐々木格さんが、自身のライフワークである心の復興支援としてはじめた風の電話や森の図書館などのボランティア活動を紹介。震災などで会えなくなった大切な人に想いを伝える方が多く来訪する風の電話は、「グリーフケア」の一環になればとの想いから生まれたと言います。電話線がつながっていなくても、大切な人と想いはつながっている、そう思うことで小さな希望や夢が生まれ、グリーフ状態から抜け出す一歩にむかうと話しました。また、講演の最後には、病院で子供たちに読みがたりのボランティアをされる、フリーアナウンサー上藤美紀代さんが絵本かぜのでんわの朗読をされました。

【脳いきいき講座を開催】(2/8富士、2/15磐田)

認知症の仕組みと予防の為の生活習慣について学びました。講師の志村先生によると、65才以上の認知症推定出現率とその予備軍とされる軽度認知障害の出現率は28%に上ると言うデータを指摘し、認知症発症の危険因子は加齢、高齢者の4人に1人以上が当てはまる。その上で、「本人も苦しいし介護する家族も大変。従って認知症にならないことが自分や家族の幸福になる」と予防の意義を説きました。その一方、予防薬は無い為、生活習慣から老化以外の危険因子を取除くべきと説明。早期の発見に努め、加齢による脳機能の低下に合わせた予防や予防効果を確認することが重要だと訴えました。

【知っ得情報講座 ネットの落とし穴】

(11/22長泉、11/29静岡、1/31浜松)

携帯やスマホの普及に伴い増加するインターネット関連の消費者トラブル。今回は、消費者問題に詳しい司法書士の山田茂樹先生から、フィッシングサイト、出会い系サイト、架空通販サイトなどの詐欺手口と回避方法を学びました。自分は大丈夫という思い込みはせず、騙されるかも知れないとの意識を持ち、メールやサイトへ対処していくことが大切だそうです。

●「ALWF(アルーフ)ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先
公益財団法人 **静岡県労働者福祉基金協会**
ALWFロッキーセンター
〒420-0851　静岡市葵区黒金町5-1　静岡県勤労者総合会館3階
TEL 054-273-3000　FAX 054-272-7326

運動継承！

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

4回シリーズ その4

野口　武利

事業団体職員・労福協役員へ贈る言葉は、4人目の寄稿者となります。

現在、藤枝市に在住の「野口武利」さんは県労福協の副会長として1980年から1991年、会長として1991年から2003年までの長きにわたり県労福協で活躍された方です。野口さんは大所高所からものを見る事ができる方であり、バイタリティーある方だと聞いています。

白人社会の終焉（しゅうえん）か。

戦後七十年、ともかく安穏に暮らして来ましたが、これで良かったのか、今年こそじっくりと振り返って見ようと、多くの国民が考えていたでしょうに・・・。

暮から正月にかけて、イスラム国と名乗るテロ集団に、日本の二人の青年が殺害されてしまいました。残念でなりません。

実は、これに似たようで全く逆な事件が、日本でありました。四十年程前の事です。

幼稚な新左翼のグループが、企業爆破や誘拐、殺人、ハイジャック等をしでかし、世界に迷惑をかけた事があります。

バングラディシュの首都ダッカで日航機がハイジャックされ、裁判中の仲間の釈放と、身代金六〇〇万ドルを政府に要求しました。

昭和五一年、福田赳夫総理の時です。

「人の命は地球より重い」、の名台詞を残して要求を全て呑み、パレスチナのゴラン高原まで送り届けました。バングラディシュの国民は怒り、軍によるクーデターで空軍司令官が殺害された程です。ゴラン高原にはイスラムの青年達が、ゲリラやテロを行う訓練センターがあり、二十億円余の資金は、大いに役立ったようです。

その青年達の中に、サウジアラビアの大富豪の息子ウサマ・ビン・ラーディンが居たようです。父親の建設会社を譲り受けると、アフガニスタンとパキスタンに、レベルの高い訓練センターを建設、後に、ペンタゴン（米国の国防総省）や、ニューヨークの貿易センタービルの破壊につながり、ブッシュ大統領をして、「これは、最早テロではない、戦争だ!!」と叫び世界を震えあがらせました。

日本では、敗戦と同時に、近現代の歴史を直視する勇気を失い、反米、反安保、反独占、反帝国等々のスローガンだけで問題の本質をうやむやにして来た事が、今日の行き詰まりや、逃げ口上になってしまう事に、もう気づくべきです。

世界で一番早く文明が開花し、宗教が育ちユダヤ教・キリスト教・イスラム教が、長い間共存して来たのに、僅か一〇〇年か二〇〇年程前から崩れはじめ、植民地化、被植民地化が、地球規模ではじまり、第一次・第二次世界大戦の遠因を作り、中東から、アフリカ全土にわたる様々な怨念を残し、今でも続いている火種を・・・・・と云う風に理解しないと、この地域でおこっている様々なトラブルの全体像と、時間の長さが見えて来ません。

ヨーロッパの白人達が、中東のイスラム人達と、どんな付合い方をし、何をして来たのかを理解した上で、ゆっくり考えるしか無いのかしら。

日本のすぐそばに、インドネシアがいます。人口二.五億人、八〇％がイスラム教徒です。

日本と同じように民主主義で昨年の大統領選挙で、政権が交替しました。「暴力ではなく!!」何故、中東のイスラム諸国と違うのかしら。

日本にとって、インドネシアとどう向き合うか、非常に大事なように思います。

（一年間、寄稿ありがとうございました。）

人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク　No.16

中村（ナカムラ）　和孝（カズタカ）さん

裾野地区労福協　事務局長

出身組織：トヨタ自動車東日本労組
役　職　名：支部長

①趣　味：毎日のワンクリックで「フードバンクふじのくに」の応援（趣味というより日課）
②モットー：情けは人の為ならず
③最近感動したこと：同郷の先輩が近所に住んでいたこと
④最近失敗したこと：その先輩の名前を聞かなかったこと

皆さんも毎日のワンクリックで社会貢献はいかがですか??

みなさん、こんにちは。

裾野地区労福協事務局長の中村です。

私、「労福協だより」に登場するの・・・2回目なんです。（笑）

1回目は、2012年秋。地区労福協新会長の紹介で掲載いただきました。それから、早いもので2年半が経過しました。

裾野地区労福協は、構成組織の事情？で、定期的に会長→事務局長→副会長とローテーションしており、今回、縁あって事務局長として「労福協だより」に2度目の登場となりました。3回目は、副会長で登場？！

先の2年間、活動拠点となる「裾野地区労福協事務所」の開設や様々な取り組みを行ってきました。地区労福協会長として、任を全うすることが出来たのも、事務局次長の労金裾野支店望月支店長をはじめ、労福協役員・会員の皆様にお力添えいただき、ともに活動を進めることが出来たからです。この場を借りて、改めてお礼申し上げます。

ここからは、裾野地区労福協について紹介させていただきます。

裾野地区労福協は21会員、約12,000名で構成されています。

会員からの会費徴収は行わず、県労福協や行政からの助成金等、限られた予算で活動を行っている県内でも珍しい地区です。

社会貢献活動として、市内全域でのカーブミラー清掃やクリーンキャンペーン（ゴミ拾い）、世界遺産である富士山清掃等の実施、地域の福祉向上活動として、裾野市長への行政要望や顧問議員による行政報告会等を通じ、勤労者の声を市政に反映できるよう働きかけを行っています。

また、会員相互の親睦を図る活動として、ボウリング大会等のレクリエーション活動も行っています。

昨年からは、「フードバンクふじのくに」の活動支援として、イベント毎にフードドライブや会員組織内での食品の持ち寄り活動等も行っています。

年々、行政からの助成金が減少するなか、会費徴収も検討しなければならないかもしれませんが、今後も、限られた予算の中でできる活動を精一杯実施していきたいと思います。

最後に、私の日課を紹介します。

ALWFセミナーで講師の方から紹介いただいた「gooddo」サイトで、毎日1回「フードバンクふじのくに」を応援（ワンクリック）しています。

皆さんも毎日のワンクリックで社会貢献はいかがですか？？

gooddo　フードバンクふじのくにサイト
http://gooddo.jp/gd/group/fbfujinokuni

【参考】gooddoホームページより引用
gooddo(グッドゥ)とは？
gooddoは自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に無料で支援することができるソーシャルグッド※プラットフォームです。
※ソーシャルグッド
社会貢献に類する活動を支援・促進するソーシャルサービスの総称、または、そうしたサービスを通じて社会貢献活動を促進する取り組みのこと。ソーシャルグッドの「グッド」（good）には「善」や「徳」、「良い行い」といった意味合いがある。

米山理事長

中遠地域労福協 トップセミナー開催

1月16日、磐田グランドホテルで中遠地域労福協主催のトップセミナーが開催されました。

トップセミナーではフードバンク山梨の米山理事長を招き、「未来につながるフードバンク活動」というテーマで講演をしていただきました。鳥居会長はフードバンクに対して強い想いがあり米山理事長を今回の講師として招きました。

米山理事長の講演の中では、最初にNHKのクローズアップ現代で「フードバンク山梨」の活動が取り上げられた「おなかいっぱい食べたい ～緊急調査・子どもの貧困～」ビデオが上映されました。このビデオの中では経済的な理由で、おなかいっぱい食べることもままならない子どもたちが増えている現状が写し出されていました。このビデオの中で出てきた中学生は、体が痩せ細っていて本当に何も食べていない姿に驚きました。

米山理事長の講演は大変わかりやすく、フードバンク事業の意義、フードバンク山梨の行っている事業、特に年齢の低い子どもを抱えている母子世帯が貧困になりやすいことも話されていました。また、フードバンク山梨は、「生活困窮者への食料支援だけでなく、行政への政策提言や自立支援事業も併せて行っている」ことも話されていました。

参加した方から、米山理事長の講演を聞き、フードバンク事業の意義が良くわかり、目から鱗が落ちたとの声がありました。

また、中遠地域労福協では参加者に対してフードドライブでの協力をお願いしていました。当日は130名余の参加があり、多くの方に家庭に眠っている余剰食品を寄贈いただきました。皆様の暖かい気持ちに感謝いたします。

回収BOX設置

設置式での集合写真

湖西地区労福協の幹事会において「フードバンクふじのくに」の活動に協賛していくことが確認され、参画に向けた活動が始まったのは2014年5月のことでした。会員組合企業への災害備蓄食糧品の事前調査と提供依頼、また湖西市への協力要請を念頭に、市長へ行政要望の場で依頼をするなど、本格的な始動に向けて一歩一歩準備を進めて参りました。

その地道な準備が実を結び、活動を始めてから6ヶ月後の2014年11月には、湖西市健康福祉センター（おぽと）へのフードドライブ回収BOX設置が正式に決定しました。公共施設へ回収BOXが常設されるのは静岡県内でも初めてのことです。

2015年1月14日（水）に回収BOXの設置式を開催し、当日は三上湖西市長、フードバンクふじのくにの木下副理事長、楠湖西市議会議員、その他湖西市役所の部課長の方々など多くの方に立ち会っていただきました。特に三上湖西市長をはじめ湖西市役所の方々に、活動に対するご理解と全面的なご協力をいただきましたことには感謝してもしきれないほどです。

湖西地区労福協としての活動はやっとスタートラインに立てた状態です。回収BOXを設置することが目的でなく、この活動が食を大事にするという意識向上と、困っている方たちへの助けとなれるよう、湖西地区労福協はこれからも邁進して参ります。

食品を入れる三上湖西市長と
テレビ静岡の取材カメラ

2014年度 清水地区労働団体役員合同セミナー開催

1月17日(土)【2014年度清水地区労働団体役員合同セミナー】がろうきん清水支店で開催されました。

まず最初に静岡県労福協金指専務理事による、【フードバンクふじのくに】の紹介をいただき、次に林県議会議員による県政報告、新政会所属の市議会議員による県政報告および市長評価についてお話しいただきました。

次に、市議会議員を交え、【魅力ある街とは】をテーマにして、分散会形式での意見交換を行ないました。分散会では、それぞれが思う静岡市の未来について熱い議論がされました。最後に各グループの発表者から報告いただき、各グループの意見を共有することができました。

セミナー終了後、場所をホテルシーグランデ清水に移し、来賓を交え懇親会を行ないました。

日頃会うことがないメンバーで最初は緊張気味でしたがお酒も入り、徐々に打ち解け、ビンゴ大会も含め楽しい時間をすごすことができました。

本セミナーに参加することにより、清水地区の和気藹々とした雰囲気、また組合の活力を再認識することができとても良い刺激になりました。今後もたくさんのイベントを開催し、清水地区の結びつきを更に強くしていきたいと感じました。

ご参加いただいた皆さま、お疲れさまでした。

2015年 新春のつどい

1月27日(火)「2015年新春のつどい」を、労福協各会員より55名の参加者を得てKKRホテル熱海にて開催しました。

第一部は、江田事務局長の司会で進行、小島副会長が開会の辞を述べ、青木会長より当地区労福協の活動を報告し、「今年も昨年と同様の支援をお願いしたい」と挨拶を述べました。続いて、来賓として開催地である熱海市の田邊副市長に挨拶いただいた後、県労福協の金指専務理事にフードバンクの歴史、しくみ、運用、設立趣意、支援実績などについて講演をいただきました。参加された方々へ、フードバンク支援取組みなどについて、更に理解を深めていただく機会になったと思います。

講演後は、江田事務局長が乾杯の音頭を取って第二部の懇親会が始まりました。懇親会では、木部副会長の進行によるテーブル毎のチーム対抗でダーツゲームを楽しみ、参加者の皆様に賞品をお持ち帰りいただきました。閉会の辞は岡崎副会長より述べ、盛会のうちに新春のつどいを終了しました。

本新春のつどいにて、フードドライブを実施し、47点14kgの食品を参加者の皆様より寄贈いただきました。参加された皆様、ありがとうございました。

暮らしのあれこれ、
ご相談は〈ろうきん〉へ。

クルマやバイクの購入から
車検まで!
〈ろうきん〉
オートローン

お子さまの入進学を
応援します!
〈ろうきん〉
教育ローン

マイホームの夢の実現に!
借換えやリフォームにも!
〈ろうきん〉
住宅ローン

つもる話はアフターファイブに。

県内〈ろうきん〉の全営業店で開催中!
水曜よりみち相談会
予約優先※1
毎週水曜日　17:00〜19:00
各種ローンはもちろん、預金や個人向け国債、
投資信託、個人年金保険の相談もOK。※2

はずむ話はデイタイムに。

県内ローンセンターで開催中!
日曜のんびり相談会
予約制
毎週日曜日 9:00〜12:00 13:00〜16:00
3ローンセンターでは土曜日も相談OK。
浜松中央ローンセンター・静岡中央ローンセンター・富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。
※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。
※　いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん
ピポパ de ろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル　平日 9:00〜18:00
0120-609-123
インターネットホームページ
http://shizuoka.rokin.or.jp
静岡ろうきん　検索

ZENROSAI NEWS
1814B048

全労済の 住まいる共済 新登場
新火災共済・新自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

組合員の皆さまの声をうけて
2015年2月、生まれ変わりました!

この機会に一度、見積もりしてみませんか?

組合員の皆さまの住まいにあわせてさまざまなプランをご用意しています。
協力団体・全労済の窓口までお問い合わせいただければ、住まいに適した保障をご提案します。
住宅の新築・リフォーム、住宅ローンの完済、引っ越しなど、
住まいを取り巻く環境が変わったときは、ぜひ全労済にご相談ください。

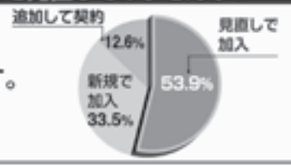
ステップ1
加入している
火災保険(共済)の
内容を理解する。

ステップ2
自分にあった
保障内容・掛金を
検討する。

ステップ3
分からないことは
全労済に
相談する。

災害が心配な今、「住宅」や「家財」の保障を見直してみませんか?

全労済の「火災共済」は、
見直しで加入する方が多いのです。
●直近一年以内の「火災共済」契約者数
2014年　全労済調べ　火災共済加入者(206名)アンケート結果



あなたのお住まいにピッタリの
保障プランをご提案します。

労働組合の窓口
生活保障プランナー
説明会・個別相談会

お見積もりのご依頼・お問い合わせは
協力団体・全労済の窓口までお気軽にどうぞ!

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。加賞金をお支払いいただいてあ都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済静岡県本部
〔静岡県労働者共済生活協同組合〕
東部支所(共済ショップ沼津店)……〒410-0046 沼津市米山町11-24　☎055-923-1755
中部支所(共済ショップ静岡店)……〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4　☎054-254-3312
西部支所(共済ショップ浜松店)……〒430-0929 浜松市中区中央3-15-37　☎053-453-5888

読者のページ

■「フードバンクふじのくに」の取組みについて、支援を必要としている人が多くいると思います。私も協力したいと思いますが、受付け窓口がまだ少ないため、これから取組みが広がっていくといいな、と思いました。　富士宮市　渋谷様

■浙江省特別友好訪中の報告を読みました。日中関係はなかなか良くなる気配がありませんが、日本で暮らす中国出身の方はとても勉強熱心で誠実な人が多いと感じています。民間レベルでの交流、あきらめずに続けてゆきたいですね。
磐田市　小笠原様

■昨年浜松で行われた労福協祭りの写真に家康くんを見つけました。今年は浜松にて"ゆるキャラグランプリ"を開催される様で、家康くんも出場予定だとか。このような地元イベントで、街中がにぎわう事を期待します。　浜松市　植村様

■特に興味を持って拝見したのは、ロッキー奨学金の記事です。家庭環境が厳しい中でも、積極的に学ぼうとする若者を支援するとてもすばらしい制度です。奨学生の方々にはこの制度を通じて労働金庫の非営利精神を社会に出ても実践して頂きたいと思いました。　湖西市　菊池様

■ロッキーカレッジ『風の電話の物語』
佐々木格さんがはじめたというロッキーカレッジ。傷ついた心をいやしてあげたいと電話ボックスを設置するなんて、思いつきもしませんでした。大切な人を亡くして傷ついている人は今まわりにいないけど、もしいて、その人が『話したい』と感じたら、この電話のように心の耳で傾聴してあげたいと思いました。
沼津市　大塚様

あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!

事務局員紹介

(裾野地区労福協担当)

氏　名／谷元(たにもと)　朋子(ともこ)
血液型／B型
趣　味／ガーデニング、紅茶

縁あって、労福協の事務員としてお仕事をさせていただいて、早1年半が経ちました。苦手だったエクセルや、事務局員のブログ等、勉強になる事ばかりです。また、退福協やグリーン友の会の行事に参加することにより、会の皆様との交流も深まり楽しくお手伝いをさせていただき、大変感謝しております。今後は会員数の増加と気軽に立ち寄れる事務所を目指して頑張ります。

あなたも 2,000円をゲットしよう!

ホームページからの応募も可能です

(1) 裾野地区労福協の事務局長の中村さんの趣味は?
A. 毎日のワンクリック　B. スポーツ観戦　C. 読書

(2) 2月16日、ロッキーセンター会議室で開催された「一歩前進」した会議は?
A. 勤労者福祉事業連絡会議
B. 県労福協幹事会
C. ワンクリック対策会議

(3) 3月4日(水) 静岡地域・静岡地区労福協新事務所の開所式が行われました。丸伸ビルの何階に事務所があるか?
A. 2階　B. 3階　C. 5階

答えをA・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。また、ご意見・ご感想等をお寄せいただき、掲載させていただいた方には粗品をプレゼントします。

■締 切 日　2015年5月30日(土)まで　[消印有効]
■記載項目　①お名前　②電話番号　③郵便番号と住所　④クイズの答　⑤メッセージ

応募先
〒420-0851　静岡市葵区黒金町5-1
「県労福協だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。　郵便ポストをクリック

クイズ　前回の答え
(1) B：26回
(2) A：風の電話の物語
(3) A：10回

当選者
○島　田　市　浅見　早苗　様
○磐　田　市　石貝　祐子　様
○周智郡森町　南沢佳緒里　様
○浜　松　市　鈴木　智行　様
○浜　松　市　坪井喜美代　様

応募総数67通の内、正解者の中から抽選した結果上記の方々が当選されました。おめでとうございます。

アドレスが変わりました!

労福協のホームページ
*クイズの応募やご意見等の投稿ができます
http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/
検索サイトはこちらから
静岡県労福協　検索

労福協のブログ
*営業日は毎日アップしています。
検索サイトはこちらから
こちら黒金町　検索

(株)静岡ユニオントラベル

〒422-8067 静岡市駿河区南町 11-22　静岡労働会館 3F

http://www.union-travel.co.jp

TEL 054(203)6877(代)

FAX 054(203)6878

労福協だより 2015 春号

発行日／平成 27 年 4 月1日　発行所／(一社)静岡県労働者福祉協議会

発行責任者／金指 敦之　TEL.054-221-6241　FAX.054-273-3110

●Eメール　rofukukyo@mx1.s~cnet.ne.jp

●インターネットホームページ　http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/

検索サイトからもご覧いただけます

静岡県労福協　検索